

チャレンジコミュニティ

Challenge Community Club

通信

CHALLENGE COMMUNITY CLUB
Ccc

第42号

2019.12 vol.42



- CONTENTS
- 2019年度 総会・ホームカミングデイ・交流会
 - 2019年度 福井研修旅行記
 - 夏の子ども会サイエンス講座
 - 芝浦ケープサロン 内閣府『社会参加章』受章
 - 運営委員会報告・活動計画

2019年度 CCクラブ第4回定期総会・ホームカミングデイ・交流会

6月22日（土）13時30分より明治学院大学白金校舎3号館3201教室にてCCクラブ第4回定期総会・ホームカミングデイ、そして夕方にはパレットゾーン2階カフェテリアにて交流会を開催しました。

来賓として明治学院大学副学長社会連携担当教養教育センター教授・永野茂洋様、同総合企画室社会連携課課長・岩本千絵様、港区高輪地区総合支所長・野澤靖弘様、同協働推進課地区



永野茂洋 副学長

政策担当係長・杉山和寛様にご出席をいただきました。

総会は、CCクラブ会員122名の出席を得て、丸山保夫副代表の司会で始まり



斉藤正精 代表

- 第1号議案 2018年度活動報告
- 第2号議案 役員選任の件
- 第3号議案 2019年度活動計画（案）

総会の議長は斉藤正精代表が行い、第1号議案は2018年度の資料を、スクリーンを使って詳細に説明を行い、承認を得ました。

第2号議案については役員選任が承認されました。及川廣子新代表からは新役員が紹介されました。



及川廣子 新代表

第3号議案については、太田則義副代表がスクリーンを使い説明を行い、承認されました。

その後、会場から出された意見に対して太田副代表から回答がありました。



総会会場風景

特に、ボランティアをしたいがどうしてよいかわからないという声が多いので、ボランティアの場を求めている人の意見を受け入れる仕組みを作ってほしいという意見に対して、個人情報の収集、提供など難しい問題を含んでいるのでしっかりと検討していきたいとの回答でした。

会報部会としては、個人の要望を聞いてからボランティアとマッチングするという、視点を変えて、現在、会員が参加しているボランティアを人数の多少によらず、情報提供の支援をしていきたいと考えています。それを参考に皆さん一人ひとりの意思で参加していただきたいと思います。



丸山保夫副代表の司会で来賓の挨拶をいただく

代表	及川廣子（6期）
総務部会長	國久昇（11期）
地域連携部会長	森下和彦（11期）
ホームページ部会長	石賀幹春（9期）
会報部会長	古橋義弘（1期）
企画部会長	野村知義（8期）
副代表	石川啓子（8期）
副代表	太田則義（7期）

ホームカミングデイ



井上孝代 先生

今年のホームカミングデイでは、明治学院大学名誉教授の井上孝代氏の「ポジティブエイジングの心理学～これからのライフストーリーを考えてみよう！～」と題したお話を伺いました。

終了後、熱心に聞いていたCCクラブ会員の方に聞きました。

★井上先生のお話を聞いて印象に残っていることは何ですか？

- 世間的には“終活”という言葉が使われているが、先生からは“花活”がよりふさわしいと言われたこと。
 - 「キャリアを考える時のポイント」として、①自己理解（興味・能力・価値観）、②ステップ・バイ・ステップ、③考えて、行動し、振り返る、④サポーターを持つ、を挙げていました。今後の「自然、地域、家族、ライフスタイルのつながり」を考える上に大変参考になりました。
 - 敢えて先生は年齢を明かしていませんでしたが、とても若々しく、年齢にこだわらずに生きていく大切さを学びました。
 - 自分らしい前向きな生き方としての、まず第一の理解は共感すること、を実感しました。
- ★井上先生からみなさんに紙とクレヨンが配られ、自分の人生を川に見立てて、好きな色を使って絵に描いてみて、隣の人と話し合うように言われて感じたことは？
- 私の描いた川の絵を見て、隣の人からは「順風満帆でしたね」と言われましたが、他人から順風満帆に見えるように努力しているが、水面下には大きな石もあり、急な流れもあるのです。具体的な絵には描きませんでした。
 - 自分史ではないが、川の流れを描くことにより自分の岐路がはっきりわかりました。
 - 隣の人が描いた絵がうますぎて思わず見とれてしまいました。きっといい人生を歩んできたのでしょう。

交流会



12期生の皆さん

今年の交流会は、食堂の上のカフェテリアを区切って、広く明るい雰囲気の中で行われました。

今や恒例となりつつあるCCクラブ新入会員による発表会は、今年は第12期生の中に作曲が得意な方がいて、皆さんの作詞・作曲によるCCクラブを思う歌が披露されました。



12期生の挨拶



12期生中心による歌のお披露目



交流会の様子

2019年度 福井研修旅行記

1期 古橋 義弘

今年度の宿泊研修は「地域福祉とボランティア活動を考える」と題して、福井県社会福祉協議会との合同開催による、講演・活動発表・合同会議、ならびに越前市のコワーキングスペース&シェアオフィスを運営する(株)LAMPを訪問して意見交換をするという目的で実施されました。

私たち一行は、河合先生を中心に10人のCCクラブ会員の参加となりました。

東京駅に集合して、新幹線と特急列車を乗り継いで福井駅に降り立ち、タクシーに分乗し福井県



福井県社会福祉センター（同所ホームページより）



廣部喜寛 様

気を感じました。

福井県社会福祉協議会より廣部喜寛地域福祉課長の歓迎の挨拶をいただき、CCクラブ及川廣子代表のお礼の言葉に続いて、明治学院大学名誉教授河合克義先

社会福祉センターで職員の出迎えを受け、研修の場へ向かいました。入り口でA～Dのグループに分かれて席に着き、13人の市町社協の方々と一緒にになりました。皆さん若い方が多く活



及川廣子 代表



講演する河合克義先生



全体説明は太田副代表 活動説明は伊藤文子氏

生の「日本の地域福祉の現状とボランティア活動の方向性」の講演をいただきました。CCクラブからは太田則義氏と伊藤文子氏から「港区チャレンジコミュニティ・クラブの活動について」詳細にかつユーモアを交えて、時間配分ぴったりにまとめて紹介がありました。



グループごとに行われた意見交換の様子

引き続きグループごとに「住民主体で地域活動を進めるには」をテーマに意見交換が始まりました。私の属するCグループには、人口8,000人のおおい町・人口18,000人の永平寺町・人口60,000人の鯖江市の皆さんにCCクラブから3人が加わり、楽しい意見交換の場となりました。みなさん

それぞれサロン活動への助成を行っているとのことですが、男性の参加が少なく苦勞しているようでした。やはり男性は何か目的がないと参加に消極的だと思います。何も参加することには慣れていないようです。この辺をうまく活用できたらと思いました。



杉本吉弘総務施設課長から説明を受ける様子

その後、場所を変えて「福井県の地域状況、県民生活の特徴、県下のボランティア活動の実態について」福井県社会福祉協議会杉本吉弘総務施設課長から、福井県総合福祉相談所の特徴について話をお聞きしました。特に興味を引いたのは、福井県内17の市町が一体となってボランティアセンターのマスコットキャラクター「ランティー」をもち、きずなを深めるために櫛リレーを行い、その際、漢字1文字を櫛に書き加えるというイベントを行った、ということでした。大会委員長の輪



17市町のランティーたち

の字に始まり、動-光-温-元-夢-結-和-笑-歩-連-風-笑-連-和-幸-織-添-笑（一部市と町両方を含む）とつないでいく様子は微笑ましいものがありました。

さらに震災後の子どもたちの作文が紹介されましたが、ここでいう震災とは、



総務施設課の方と記念撮影

福井県では阪神淡路大震災を指すので、長期間にわたってその思いを引き継いでいると感じました。

社会福祉センターを後にして、福井からえちぜん鉄道三国芦原線に乗り、あわら湯のまちへと向かいました。半分以上は無人駅の鉄道ですが、夕方の時間帯はほぼ満席に近い状態でした。到着駅にはホテルのバスが出迎えてくれました。バスに乗ってどのくらいで着くのか聞いたところ、2分ですとの答え、前方を見れば目の前に見えていて歩いても行けそうでした。

“まつや千千”は、落ち着いた温泉ホテルでした。まずは風呂へと足が向き、広い露天風呂に行くと壺風呂があったので入ると、お湯がザーッとあふれる心地よさを味わいました。おいしい食事のあとの2次会、3次会と続いて、皆さん差し入れのウイスキーや日本酒を飲みながら、最後に残った男4人の会話は深更まで続きました。



「まつや千千」の前で記念撮影

翌朝は、早くから朝市が開かれていたので、入浴前に立ち寄り地元産のお土産を買いました。売り手のお兄さんとの楽しいやり取りがあり、イチオシの焼き鯖寿司は、入浴後に立ち寄った時は売り切れの状態となっていました。もちろん購買済みですが、さらに柳カレイの干物をおいしくいただく秘訣を教えてもらいました。朝食に出されたこの干物は、お兄さんの言う通り中骨に沿って切れ目が入って食べ易くなっていて、頭と骨を残して全部食べることができました。土地の名産品を購入して地域に貢献することもお互いに良いことだと思います。

J R 芦原温泉駅までバスで送ってもらい、武生に向かいました。ここでは「コワーキングスペース」LAMPを訪問。LAMPを立ち上げた福井県立大学看護福祉学部助教でもある永井裕子氏の歓迎を受けました。子どもを育てながらの立ち上げには苦勞も多かったと思いますが、子どもに支えられながらできましたと話されました。



永井先生の挨拶で始まりました（左後方はキッチン）

福井県は全国一番の幸福度を持っていますが、その秘訣はと聞きましたら、「福井県内の17の市町が『しあわせのもと』を整えているからです。だから福井県は、幸福度ランキングが1番なので



1階コワーキングスペースで熱心に話を聞く皆さん



2階はシェアオフィスで、3階はイベントスペース

す」との答えをいただきました。お互いさまの心を持ち、待機児童ゼロで、共働きが多く、2世代同居も多いと聞きました。やはり、女性が生き生きと生活できることが幸福度につながっているのではと思いました。なお、LAMPの詳しい説明は、CCクラブホームページで紹介しています。

昼食は、近くのお蕎麦屋さん「御清水庵」を紹介いただき、冷たいそば茶とほんのり甘いきびだんごを食べていると、間もなく名物のおろしそばが出てきました。辛味大根が舌にピリピリくるほどのタレ



越前おろしそば

とそばの味は格別でした。お店の人に「これは越前そばですか？」と聞いたところ、しばらく無言が続いたのち、「越前そばという名称は商標登録

されていて使えませんが、これは越前のそばですよ」との返事をいただきました。すぐそばに「お清水不動尊の水」というおいしい水があるので、おいしさもさもありなんと思いました。御清水と書いて「おしょうず」と読みます。

永井先生からCCクラブの活動報告会に行きますとのうれしい言葉をいただき、武生をあとに金沢に向かいました。



「コワーキングスペース」LAMPの前で記念撮影

金沢では自由行動の時間があり、男性3人でまず「近江町市場」にバスで行き、名物の一つである「どじょうのかば焼き」を食べながら、次の目的地に選んだ「ひがし茶屋街」へと町なかを歩いていきました。「弁当忘れても傘忘れるな」というほど雨が多く、厚い雲で覆われていたため戦災をまぬかれた地である金沢は歴史ある古い家が至る所にありました。

途中他のグループと出会い、有名となっている「箔一」で金箔ソフトを食べました。店の中はいっぱいの人でした。雨が降り出してきたので向かいの店「茶房やなぎ庵」に入りました。金沢は九谷焼が有名ですが、ここでは大樋焼きという手こね作りの茶碗で、一つずつが微妙に異なり、抹茶と金沢銘菓森八の生菓子を食べました。さらにお土産に生麩を買ったりしてバスで駅に向かいました。

北陸新幹線の車中は、ビールを飲みながら話に花が咲き、せっかく買った駅弁は食べずじまいとなりました。帰宅後に家族と分け合って食べた焼き鯖寿司やカレイの干物、金沢駅で買った駅弁をおいしくいただきました。

物事を短絡的に考えず、頭を柔らかくして考えて見ることの大切さを感じました。くしくも今年のノーベル化学賞を受賞された吉野彰氏は「やわらかい頭と諦めない執着心」が大切と話されていました。

積極的に参加した結果、楽しい研修旅行となりました。

夏の子ども会 サイエンス講座

夏の子ども会サイエンス講座は8月18日（日）に港区役所9階研修室にて港区教育委員会事務局教育推進室図書文化財課とCCクラブの共催で行われました。

毎年みなと図書館で行われていましたが、今年は急遽会場が変更となりました。16日（金）の準備から始まり、当日は10時～15時の開催時間前後の準備、撤去も含めCCクラブ会員21名がみなと図書館スタッフと協力し運営しました。

今年も多くの子どもたちの事前申し込みがありましたが、午前、午後の2回に、合わせて60名が参加しました。各回30名が5つのグループに分かれ3つの講座を30分ずつ受講する形で行われました。

講座は ①ワクワク化学実験室 ②プログラミング講座 ③リニア新幹線のしくみ ④星座早見盤を作って星座を見よう！⑤音と光のナゾ、の5つでしたが、各講座ともに子どもたちの真剣にスタッフと一緒に楽しむ姿が印象的でした。

どの講座でも子どもたちの興味は深いものが感じられますが、プログラミング講座は毎年子どもたちのレベルが高くなっていることに驚きます。

子どもとの触れ合いに嬉しい一日となりました。



写真の上段左から①～⑤の講座光景とCCクラブ
会員運営スタッフも含めた記念撮影

芝浦ケーブルサロン（12期平田渥美さん 代表）内閣府『社会参加章』受章

12期平田渥美さんが代表の芝浦アイランドのケーブルサロンが内閣府「令和元年度エイジレス・ライフ実践事例及び社会参加活動事例」に選考され10月3日（木）に伝達式が行われました。

この『社会参加章』は「主体的に社会とかかわりを持ち、積極的な社会参加活動を通じ、生き生きと充実した生活を送っているグループ、団体などであって、高齢社会における高齢者の社会参加活動として広く全国に紹介するに足ると認められたものとしします」と紹介されています（内閣府ホームページ）。また、今回の『社会参加章』の活動内容は次の通りです。「芝浦アイランドにあるタワーマンション内で、マンション住民同士の交流の場としてサロン活動を行っている。サロン立ち上げ当初は月1回の開催だったが、もっと話をする場が欲しいと参加者から声が挙がり、今では毎日自然と住民が集まる居場所となっている。住民同士の交流が難しいと言われているタワーマンションで、居場所だけに留まらず、見守り活動へと広がりを見せており、先駆的な取組として地域福祉の推進に貢献している。」（同、内閣府ホームページより）

この『社会参加章』は2012年（平成24年）にチャレンジコミュニティ・クラブが選考されて以来、港区では2回目のことです。



会員皆さん笑顔で記念撮影

伝達式は、10時より芝浦アイランドケーブルタワーで行われ、港区高齢者支援課長金田耕次郎様より賞状が、そして港区社会福祉協議会事務局長奥野佳宏様より楯が渡されました。最後に平田様より謝辞と活動内容が披露されました。その後、談話室でコーヒーとお菓子でお祝いの会が開かれました。この日は会員の約25名が参加されました。

なお、このサロンの登録者数は40名で、そのうちCCクラブ会員は3名です。

■ 運営委員会報告

2019年度運営委員会がスタートし7カ月、総会で新体制が承認されて4カ月が経過しました。今年度の運営委員会では、出来る限り分かり易い説明と運営を心掛けています。運営委員は毎年多くのメンバーが改選されます。毎年同じような行事であっても、新運営委員にとってはどのような経緯で行事が行われているのか、なぜその行事に運営協力するのか分からないことが多いと思います。今年度においては役員会（代表、副代表、各部会長で構成）において行事の参加の内容を検討し、運営委員会に提案しています。まだまだ十分とは言えませんが、今後も丁寧な運営に努力します。

今年度の運営委員会では、期・グループと地区CCクラブの活動紹介を行っています。前者は7月に7期2グループ、9月に8期3グループの活動を紹介しました。他グループの活動を知り、今後の活動の参考にさせていただければ幸いと存じます。また、地区CCクラブの活動についてはCC通信や毎年の活動報告会で紹介されていますが、改めて運営委員の皆さんに知って頂きたいと思っています。7月に3Aクラブの活動紹介を行い今後も継続します。



10月の運営委員会で「運営委員の選出」について意見交換を行いました。詳細は運営委員の報告および議事録をご覧ください。11月以降もこの課題について意見交換と討議を行います。

CCクラブ参加の行事に会員の皆様の多大なるご協力を頂きました。今後もみなさんのご協力、ご支援をお願いいたします。

（副代表 太田 則義）

■ 活動計画

2019年度CCクラブ活動報告会（詳細内容は別途案内で確認してください）

2020年2月22日（土） 明治学院大学白金キャンパス 2号館 2301教室

13時00分開場予定

◇第一部	活動報告会（活動発表と意見交換会）	13：30～16：30
◇第二部	交流会	17：00～18：30

編集後記

令和元年度のCC通信第42号では、例年の定期総会・ホームカミングデイ・交流会、夏の子どもサイエンス講座、9月に実施した宿泊研修「福井研修旅行記」を掲載しました。また積極的な社会参加活動として皆様のサロン活動の励みになるように、芝浦ケープサロンが内閣府から『社会参加章』を受章した模様を掲載しました。

会員の皆様によりわかりやすく、楽しんで読んでいただけるように写真を多く載せています。表紙はいかがでしたか？特に研修旅行は皆様に多く参加していただけるように福祉の研修と旅行の醍醐味を入れてみました。一人でも多くの会員の皆様に楽しんで読んでいただき、活動の参考にさせていただきたいと思います。

（10期 境 静子）



チャレンジコミュニティ通信 vol.42 2019年12月1日発行

発行者 チャレンジコミュニティ・クラブ

事務局 明治学院大学 総合企画室社会連携課

（株式会社明治学院サービス）

〒108-0071 東京都港区白金台1-2-37

Tel.03-5421-1555 Fax.03-5421-1556

Email ccclub@meijigakuin-s.co.jp

http://www.minato-ccc.jp

会報部会

部会長 古橋 義弘(1期)

副部会長 瀬能 正実(10期)

部員 太田 則義(7期)

部員 榎本 和夫(7期)

部員 境 静子(10期)

部員 佐藤 芳男(11期)

部員 中満 美紀(11期)

部員 鈴木 興雄(11期)

部員 岩出 好枝(12期)